

# c o n t e n t s

1	はじめに .....	2
	■1-1 DynaFont Type Museum ATM-CID100の特徴 .....	2
	■1-2 ご注意 .....	2
	■1-3 商標について .....	3
2	インストールの前に .....	4
	■2-1 必要な環境 .....	4
	■2-2 文字セット .....	4
	■2-3 インストールの注意事項 .....	5
3	インストール・削除 .....	7
	■3-1 インストール方法 .....	7
	■3-2 削除方法 .....	10
4	高解像度出力時の注意点 .....	12
5	カスタマーサービス .....	13



# 1 はじめに

このたびは、DynaFont Type Museum ATM-CID100をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。ご使用につきましては、使用許諾契約書、本ユーザーズマニュアルをよくお読みになった上でご使用いただきますようお願い申し上げます。

ユーザー登録は、同梱のユーザー登録用紙でのFAX送信及びホームページ(<http://www.dynalab.co.jp>)にて登録をお受けしております。

## ■ 1-1 DynaFont Type Museum ATM-CID100の特徴

- Adobe社が開発したフォント技術であるCIDフォーマット(sfntCID)のATM版フォントです。
- ATM(Adobe Type Manager)を搭載したMacintoshコンピュータ上で美しい画面表示が得られるとともに、非PostScriptプリンタでアウトラインフォントを印字することができます。
- Adobe Acrobat 4.0日本語版に対応し、Adobe PDF書類へのフォント埋め込みが可能です。フォント埋め込むことにより、異なるプラットフォーム間やフォントの有無に関係なく、レイアウトを維持した状態で文書交換や出力が可能になります。
- 既存の弊社ATM製品と異なるフォント名を採用、同一システム上に共存させることができます。
- グラフィックソフト等によって拡大・縮小、3D Logoの作成など、自由に編集・加工が可能です。全書体アウトラインの生成が可能です。
- 別途PostScript対応のプリンターやイメージセッターにダウンロードするフォントを購入することによりハイエンドDTPでご活用いただけます。

※CID版のプリンタ用PostScriptフォントは『DynaFont Type Museum PSL-CID100』および『DynaFont Type Museum PSI-CID100』です。

## ■ 1-2 ご注意

- 本製品は、文字詰め情報、字体の切り替えはサポートしていません。

- 本製品は従来のPSフォント製品『DynaFont Type Museum PSI 100』、『DynaFont Type Museum PSL100』には対応しておりません。
- 本製品は従来の製品『DynaFont Type Museum ATM100』と比べ、一部の書体及び一部の文字について修正が加えられています。修正内容については弊社ホームページをご参照いただくか、弊社までお問い合わせください。

### ■1-3 商標について

- 本製品はパッケージ内の使用許諾契約書に従って使用するものとします。
- 改良のため、本製品のデザイン及び仕様は予告なく変更する事があります。
- Apple、Macintosh、Power Macintosh、TrueType、漢字Talk、Mac OS、MacOSロゴは、米国アップルコンピュータ社の商標または登録商標です。
- PostScript、Adobe Type Manager、Acrobatはアドビシステムズ社の登録商標です。
- DynaFontはDynaLab Inc. の商標です。
- 平成書体は(財)日本規格協会文字フォント開発普及センターの知的財産で、各DynaFontは、DynaLab Inc.が使用許諾を受け開発・販売しています。
- 行書体の著作権は富士ソフトウェア(株)が所有し、使用許諾をDynaLab Inc.が受けています。
- DCP書体は(株)システムグラフィの編集著作物で、DynaLab Inc.が使用許諾を受け開発・発売しています。
- 名前が同じ他社製フォントとの互換性はありません。
- その他記載されている会社名、商品名は各社の商標及び登録商標です。



## 2 インストールの前に

### ■2-1 必要な環境

- Adobe Type Manager (以下ATM) 4.0.2J以降 (アドビシステムズ社)
  - ※MacOS9をご使用の場合、ATM 4.5.2J以降が必要です。ATM Deluxe(日本語版)以外のATMを使用する場合は、システムフォルダの中に「Common」フォルダが必要となる場合があります。よく確認の上ご使用ください。
  - \*1下記の製品をインストールすることによりシステムフォルダに「Common」フォルダがインストールされます。
    - ATM Deluxeに付属の和文フォントをインストールする。
    - ATM Light 4.0.2J以前のバージョンをインストールする。
    - アドビシステムズ社製品に付属しているATL 2.0JバンドルCD-ROM(平成明朝W3,平成ゴシックW5)をインストールする。
    - その他Illustrator等のアドビシステムズ社製品によりインストールされた「Common」フォルダをシステムフォルダにコピーする。
    - アドビシステムズ社のホームページより「Common」フォルダをダウンロードし、システムフォルダにコピーする。
- Mac OS7.6(日本語版)以降のシステム環境
- 上記システムに必要なRAMを有する68K及びPower PC搭載のMacintosh
  - ※多数のフォントを安定して扱うには、メモリの増設が必要な場合があります。
- ハードディスクドライブ
  - 1書体につき約3～13MBの空き容量が必要です。
- CD-ROMドライブ

### ■2-2 文字セット

本製品は漢字Talk 6に準拠したATMの文字セットに対応しています。

## ■2-3 インストールの注意事項

インストールの前に以下の点を確認してください。

### ●Adobe Type Manager(ATM)日本語版

日本語ATMフォントはAdobe Type Manager(ATM)日本語版が正しくインストールされたシステム上においてのみ使用できます。ATM日本語版がインストールされているかどうかを確認してください。

また、システムフォルダには「Common」というフォルダが必要です。ATM Deluxe 4.0J(ATM4.0.3J)以降に付属の和文フォントをインストールすると「Common」フォルダがシステムフォルダにインストールされますが、他のバージョンのATMをご使用の場合、「Common」フォルダがシステムフォルダにあるかどうかご確認ください(前ページの\*1参照)。

Adobe Type Manager(ATM)コントロールパネル上の「ATM オン/オフ」をオンにしておいてください。

### ●機能拡張

一般的にウィルス検知プログラムやRAMを擬似的に増加させるプログラムが組み込まれていると、インストールに支障が起こることがあります。

### ●他社のフォント

原因が不明ですが、バージョンの古いTrueTypeフォントと同時に使用すると表示フォントに異常が発生する場合があります。

### ●「OSAKA」フォントのバックアップ

多くのフォントをインストールしたり、様々な形式のフォントを混在させたりすることでシステムフォントである「OSAKA」フォントが壊れてしまう場合があります。

念のため「OSAKA」フォントをバックアップしておいてください。

### ●フォントの入れ過ぎに注意

特に、MacOS8.6までのシステム環境では、フォントフォルダの中のスーツケースアイコン(カバンの形をしたアイコン)を128までしか管理できません。それ以上フォントを搭載するとトラブルの原因になりますのでご注意ください。既にインストール済みのフォントと合わせて128を超えないようDynaFontをインストールしてください。



## 3 インストール・削除

使用するMacintoshのシステム及びメモリによって、書体を多数インストールすると、フォントが正常に使用できないことがありますので、必要な書体だけをインストールするようにしてください。

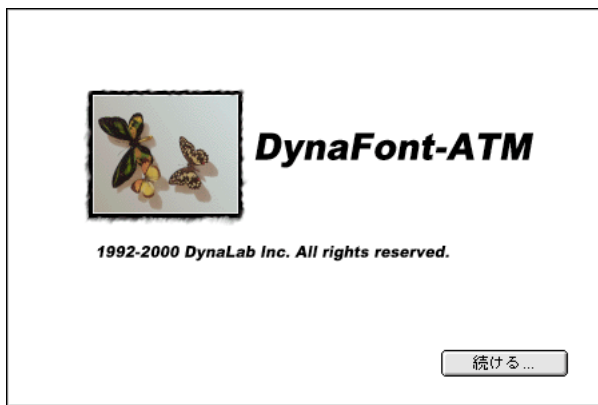
### ■3-1 インストール方法

- ①DynaFont Type Museum ATM-CID100のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
- ②インストーラのアイコンをダブルクリックします。



インストーラ

- ③起動画面が表示されます。[続ける]をクリックします。

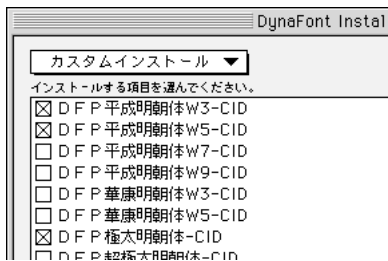


④以下のようなウィンドウが表示されます。

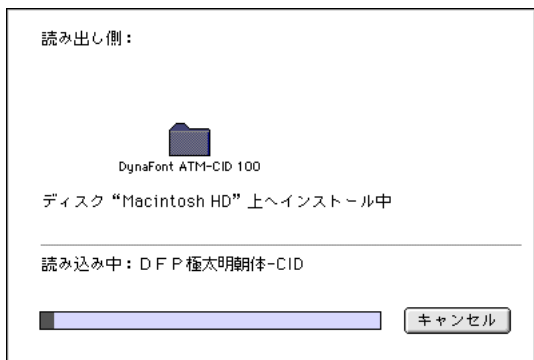


⑤「インストール先のディスク」の[ドライブ]をクリックしてフォントをインストールしたいディスクに変更します。

⑥インストールしたいフォントのチェックボタンをクリックします。



- ⑦フォントの選択がすんだら[インストール]をクリックします。選択されたフォントのインストールが開始されます。

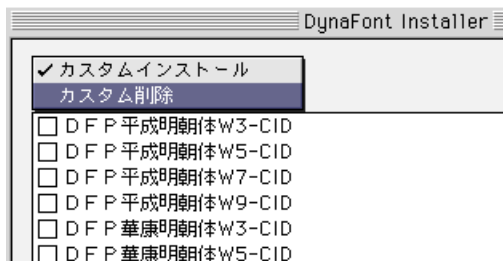


- ⑧終了すると以下の画面が表示されます。[再起動]をクリックします。システムが再起動し、インストールされたフォントを使用することができるようになります。

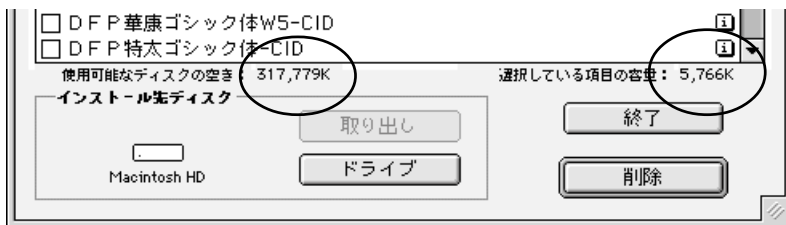


## ■3-2 削除方法

- ①「3-1インストール方法」の①～③を行いインストーラのウィンドウを表示させます。
- ②左上のプルダウンメニューから[カスタム削除]を選びます。

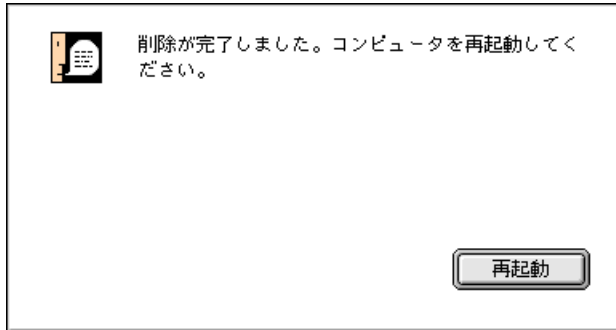


- ③削除したいフォントのチェックボックスをクリックします。
- ④削除したいフォントの選択がすんだら[使用可能なディスクの空き]に表示されているディスクの空き容量が[選択している項目の容量]に表示されている選択項目の合計容量よりも大きいことを確認します。



- ⑤[削除]をクリックします。選択されたフォントの削除が実行されます。削除されたフォントはゴミ箱に移動します。

⑥削除が終了すると以下の画面が表示されます。[再起動]をクリックします。



※インストーラを使ってフォントを削除するとき、[使用可能なディスクの空き]が[選択している項目の容量]よりも少ないと削除できません。その場合には、以下のようにして手動で削除できます。

- 1.すべてのアプリケーションを終了します。
- 2.[システムフォルダ]の[フォント]フォルダをダブルクリックして開きます。
- 3.削除したいフォントのフォントスーツケース(カバンの形のアイコン)と丸漢ファイル(「漢」と書いてあるアイコン)を「フォント」フォルダから外します。



## 4 高解像度出力時の注意点

高解像度のイメージセッタで文字を印字するためには、出力デバイス側にプリンタフォントが必要です。本製品に対応するプリンタフォント『DynaFont Type Museum PSL-CID100』および『DynaFont Type Museum PSI-CID100』をご利用ください。

出力センターを利用して高解像度出力をする場合には、ご利用になりたい出力センターがDynaFont(何という製品のどの書体)の出力に対応しているかご確認ください。

出力デバイス側にプリンタフォントがない場合にも、Illustrator、FreeHand、Canvasといったアウトライン化機能(文字の部分をテキストデータから図形データに変換する機能)を持つソフトウェアを使用し、DynaFontをアウトライン化すれば出力が可能です。

あるいは、Adobe Acrobat 4.0 日本語版のフォント埋め込み機能を利用してPDFファイルを作成することによっても、フォントのない環境での出力が可能になります。PDFファイルへのフォントの埋め込み方法についてはAdobe Acrobat 4.0のマニュアル等をご参照ください。

